

課題名：渋川地域コギク産地の維持発展に向けて

【評価できる点】

- ・省力栽培技術の普及でのマルチ利用推進などで、コギク（小夏シリーズ）の安定出荷が出来るようになった。
- ・鍵挿しにより開花前進技術や、検品強化による出荷品質の向上。
- ・コギク情報の定期発行を評価。また、キメ細かな指導に感心。
- ・栽培の現状を踏まえ、適宜必要な情報をまとめ、「コギク情報」として発行している取り組みは、農家のニーズに答えたもので、評価できる。
- ・出荷時期に合わせ、鍵挿開花技術の導入、省力栽培、検品強化での出荷品質向上で販売実績を上げている。
- ・出荷体系の確立が品質向上につながり、販売実績も向上していると思う。
- ・全体的によく整理されており、効果的な普及活動が出来ていると評価する。
- ・7月と8月の盆の需要に合わせて出荷する技術は細かい普及の指導あつてのたまものと思う。良い花木は1日でも長く消費者に楽しんでいただけて結果が出てくると思う。
- ・課題の分析・ニーズの把握が適切である。
- ・高齢化による生産者数・出荷量の減少、品質低下、異常気象への対応等の課題をしっかりと把握し、その解決策として具体的なアクションプランを策定し、生産者と一体となって取り組んだ結果、生産者数の増加、安定出荷体系の確立、品質向上において大きな成果を上げることができた模範的な活動であり、担当者の熱意が感じられる。
- ・現状把握、課題の設定等ほぼ的を得ていると思う。

【改善・強化に向けた検討事項（主な意見と対応策）】

1 課題や目標設定に関すること

- ・産地の維持発展事業と言うより栽培技術指導に軸足がある。新規栽培者獲得の目標数がない。
- ・目標に達しているので評価できる。ただし、A品率が向上して産地評価が上がったのに単価が下がった理由は何か、それは今後検討しないと行けない理由なのか。
- ・販売単価の考察がない。新規栽培者の確保目標がない。
- ・他県の類似事業などは、10年後の栽培者数、栽培面積、出荷量などをシミュレーションし、その結果に基づいて、新規就農者・栽培者の目標数値を決め、事業を行っている。現状の事業は技術支援に終始しており、事業の最終目標、産地の維持・発展につながるかどうかが見えてこない。目標の設定見直しが必要と思われる。

2 活動内容に関すること

- ・新規栽培農家の目標3名の上積みに期待している。今後、渋川の「小夏シリーズ」のブランド化を高め、新規栽培者の確保が出来たら良いと思う。
- ・コギクの栽培面積が伸び悩んでいるので、さらなる支援を期待している。
- ・群馬の育成品種「小夏シリーズ」の周知にも力を入れて、消費者に名前を知ってもらいたい。また、販売面を強化するため、ブランド化するような取り組みは出来ないか。
- ・暑さによる生理障害や天候に左右されずいかに安定生産するか。
- ・マルチ栽培については、導入効果が高い技術なので、まだまだ普及出来る可能性が高いと考えられる。
- ・露地のコギクは天候に左右される部分が大いだと思います。栽培コギク情報はタイムリーに発行し続けてもらいたい。
- ・小夏シリーズの他にも、時期に合った品種の選定も視野に入れてはどうか。
- ・小夏シリーズが、多くの消費者にかわいがっていただけるよう鮮度保持の対策指導をお願いしたい。